

## 心に響いた宇都宮さんの訴え ハッピーロード商店街など板橋区内を駆けめぐる

6月29日(月)宇都宮候補を迎えて板橋唯一の街頭宣伝。板橋文化会館前の歩道には人の輪が広がり、宇都宮さんの熱い訴えが響き渡りました。

立民、共産、社民の各党から訴えの後、地元で東武東上線高架化計画に反対している「大山の暮らしとにぎわいを守る会」代表鈴木三郎さん、都立病院・公社病院の地方独立行政法人化に反対する立場から「都立病院の充実を求める連絡会」代表委員の赤尾関恵子さんから宇都宮さんへの期待の挨拶が続きました。最後に宇都宮さんが「医療体制を充実させ、補償の徹底でコロナ対策を抜本的に強化する」等の3つの緊急課題についてアピールしました。

街宣終了後、宇都宮さんを先頭に「ハッピーロード大山商店街」を練り歩きながら移動し、都道補助26号線によって商店街が分断される現場「クロスポイント」でハッピーロード大山商店街振興組合元理事長大野厚さんから、戦後の復興期から多くの区民に支えられてきたハッピーロード商店街を分断する道路計画の見直しと宇都宮さんに期待する応援演説がありました。

その後宇都宮さんは、11年前に地方独立行政法人に移行した「健康長寿医療センター」に移動し、「ベッド数が減らされ、原則徴収していなかった差額ベッド料を4分の1の病床で徴収するようになった」など都民負担増の実態に耳を傾けました。

さらに場所を移し、板橋民商事務局に向き「劇団、観光業、製造業」の3人の方からコロナ禍での営業の困難さと行政の抜本的支援強化についての訴えを聞きました。

最後に都営三田線西台駅で「市民と野党の街頭宣伝」にも参加、時間ギリギリまで都民に訴えました。(荒川孝治)



## 北千住駅 宇都宮さんが500人に力強い訴え 財源を示した提案に共感が広がった！



写真は宇都宮さん、北条智彦立憲民主党13区総支部長、斉藤まり子共産党都議他

革新都政をつくる会・足立など3団体で市民選対をつくり都知事選を闘う足立区。

6月29日北千住駅前での宇都宮けんじ候補の財源を示した提案に共感が広がりました。宇都宮氏は、コロナ対策で解除後に感染者が増えている東京アラートは何だったのかと問い、「ロックダウン」や「オーバーシュート」などの言葉で対策に取り組むそぶりで、初動動作・対応があまかったと指摘、対策として、①PCR検査の拡大、②半減された保健所の拡充、③都立病院・公社病院の独法化中止、充実・強化を、④現知事のいう「自粛」「自己責任」でなく、補償は「一部でなく、全業者に！」と強調し、「都知事選は都民一人ひとりの生存権がかかった選挙」と訴えました。

その財源は、「財政調整基金以外の特定目的のための基金を条例改定で、コロナ被害対策に。さらに外環道・特定整備路線・優先整備路線など不要不急の道路計画を一旦中止して見直せ

ば、3兆円をコロナ対策に充てられる」と。都民の暮らしと営業を守るため、学生やひとり親家庭への支援、学校給食無料化などの公約を一つひとつ説明し、「私たちは微力だが、無力ではない。力を合わせれば大きな力になり、都政を変え、日本の政治を変える力になる。微力を集め、社会を変える力に変えていき、あと一週間頑張りぬきましょう」と訴え、大きな拍手に包まれました。(足立革新懇事務局 児玉紀子)

## 革新都政をつくる会「通信」N016号より

### SNSが大反響を呼んでいます

東京地評・鎌田さんや新婦人本部・岡田さんなど若手メンバーを中心につくったSNSグループ「あなたと変えるTokyo 2020」の投稿が大反響を呼んでいます。  
○Twitterアカウント(右のQRコード)  
([https://mobile.twitter.com/change\\_tokyo](https://mobile.twitter.com/change_tokyo))



宇都宮けんじさんを応援する市民の声や、著名人からのメッセージ、宇都宮けんじさんや市民と野党の共闘の都議補選候補の演説動画を編集して発信していますが、すでに憲法学者・小林節さんのインタビュー動画は4万回再生され、累計60のツイートに対するインプレッション(反応)は56万を超えています。

前衆院議員の池内さおりさんや、東京地評の荻原議長もインタビューにこたえています。立憲民主党・塩村あやか参院議員、日本共産党・山添拓参院議員、社民党・福島瑞穂参院議員もメッセージを寄せてくれています。皆さんも拡散にご協力をよろしくお願いいたします。